

IMMORAL

GRBL/UNOFFICIAL FANBOOK
Gran×katalina

FOR ADULT ONLY

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



この前イオの買い物に
着いていったときに

たまたま
見つけた魔導書

戦闘意欲を奪って
弱体化させる術—
魅了の効果を用いて

他人を自分に好意を
持つているように
錯覚させる
魔法が載っている

……もしもこれが
本当に効果的
な魔法なら

カタリナさんが
僕を好きになっ
てくれるとしたら

……こんなの簡単に
効くわけがないって
思ったけど

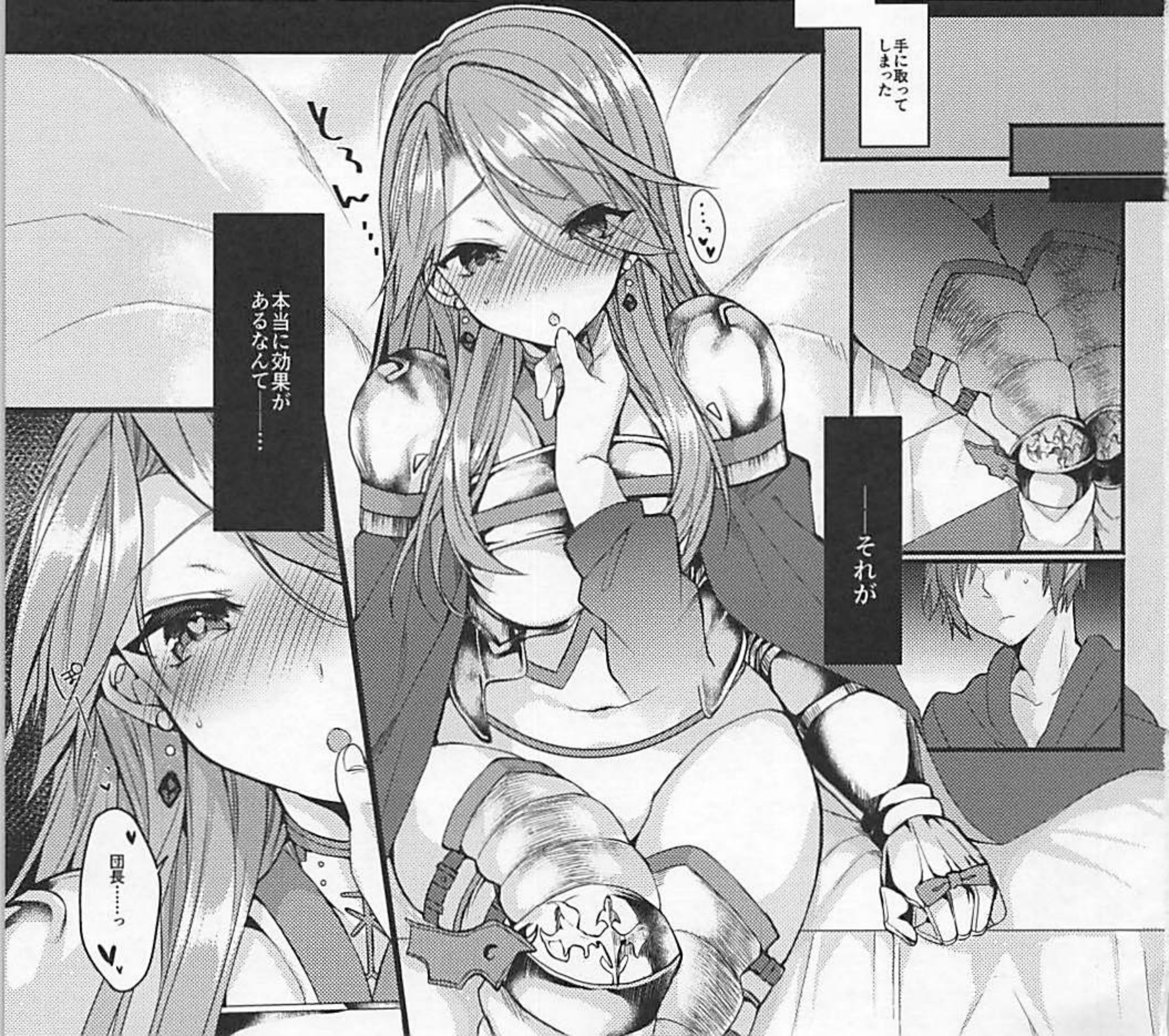
……結局
期待を
捨てられなくて

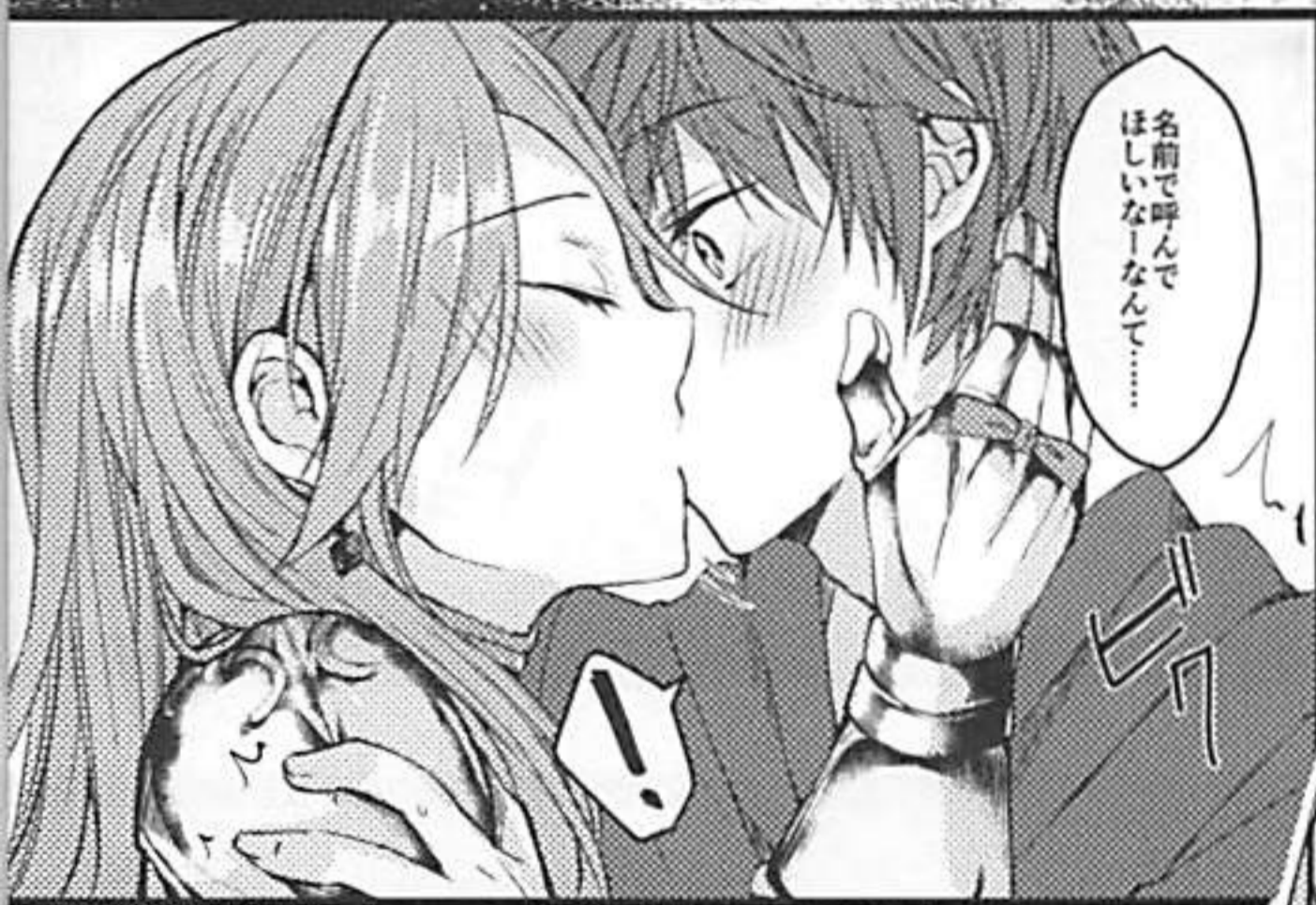
手に取って
しまった

それが

本当に効果が
あるなんて……

団長……っ







君に触られると
すごく気持ち
いいんだ

だから……



ごつごめんなさい
調子乗りました

嫌だったら……

嫌ではないよ

ん、



もっと直接
触ってほしい



グなあ
ラン

柔らかくて
ふかふかして
いうか……

っていうか



照えても
やっぱり女の
人なんだな

こうやって
抱きしめてみると
僕より全然細い……



……普段の格好じゃ
全然わかん
なかつたけど

じ……

……駄目か?

かつ

カタリナ
さん……っ

今夜はこのまま
君と一緒に
居たいんだ

僕……っ!



そんなに
焦らなくても
逃げないうぜ……♡

カタリナさんの
おっぱい……っ

すごい……
これが……





カッ...
カタリナさん!?

硬くなってるぞ



えっ

ヒキヒキ



それに...
動いてる...

すごく
熱い...



うわっ!?



こんなに...
しては私で興奮...
からののか?

カタリナさんが
僕の



っカタリナさん...
そんな風に...
されたら...

嬉しそうに
触ってくれてる...



ズンズン
ズンズン



駄目ですっ



まっかたは
どうなって
しまっただっ

っっっ



ここが
クリトリス?

ここ触られると
気持ちいいん
ですよ?



少し触った
だけなのに

こんな風に
なっちゃう
んだ



だん...
だん...
何回も
キスしたから...

ん...
ん...



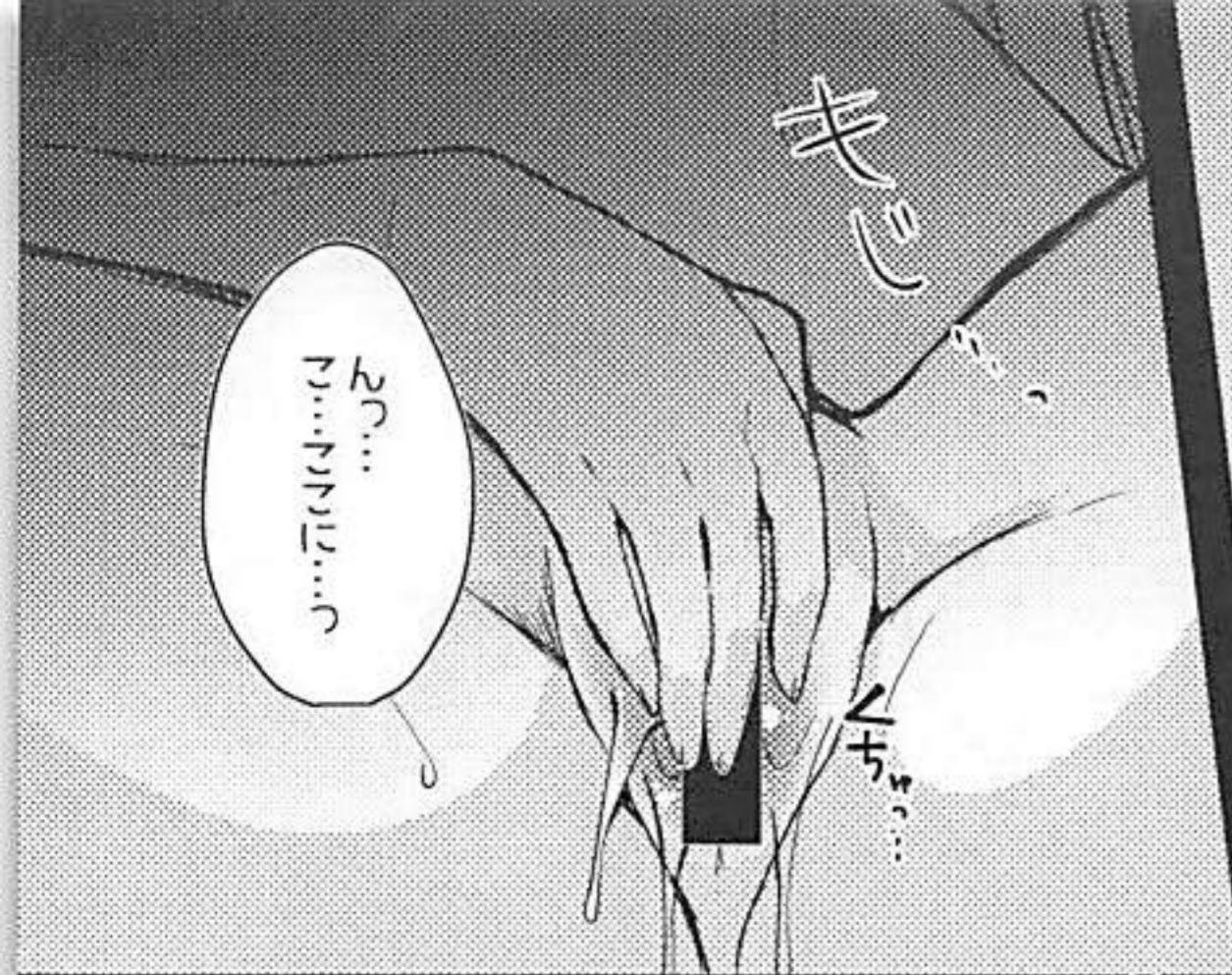
僕だってもっと
カタリナさんに
触りたいっ!

あ...

うわ...
柔らかい

濡れて下着まで
びちょびちょに
なってるし...





んっ…
ま…ま…ま…

まじ

んっ…



それなら
どこに入れてほしいか
ちゃんと教えて

ほっ

んっ♡

びびっ

ぬいっ

ぬいっ



手で隠され
ちゃったなら
わかんないよ

どうなってるのか
ちゃんと見せて?

んっ…

んっ



うわ…すっご…っ
ぐちよぐちよ…

グラフに
見られちゃってる…

恥ずかしいと…
奥まで全部…♡

あ…っ

んっ♡

白っほいぬるぬるが
どんどん溢れてくるね

カタリナさん
見られてるだけでも
感じちゃうんだ?



あーっ

あーっ
あーっ

あーっ

グラン
もう焦らさな
いでくれ...

もう君の...

すごい...
カタリナさんの中
熱くてとろとろで

ちんぽに
吸い付いて
くる...っ!

つまって
カタリナさん

そんな
締めない...

グランっ
もっど

もっど君の
気持ちよく
して...

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ



ただでさえ
狭いのに……

好きっ……!

好きですっ

カタリナ
さん

出し入れする度に
中の肉が
絡みついてきて……

は……

は……



カタリナさん……っ
気持ちよすぎて
やばい……

グラン

私の身体で
気持ちよくなっ
てくれているんだな……

嬉しい……っ
もっ

もっ私の身体で
気持ちよくなっ
て……っ

腰……っ
おかしくなりさ……っ

は……





……グラン





私も君が
好きだよ……

カタリナさんが
僕を気にかけて
くれるのは

僕の命が
ルリアに分け与えて
もらったものだから



大切な人の
命の半分が
僕の中にある

それを守るために
カタリナさんは
ルリアだけじゃなくて
僕の側にもいてくれる

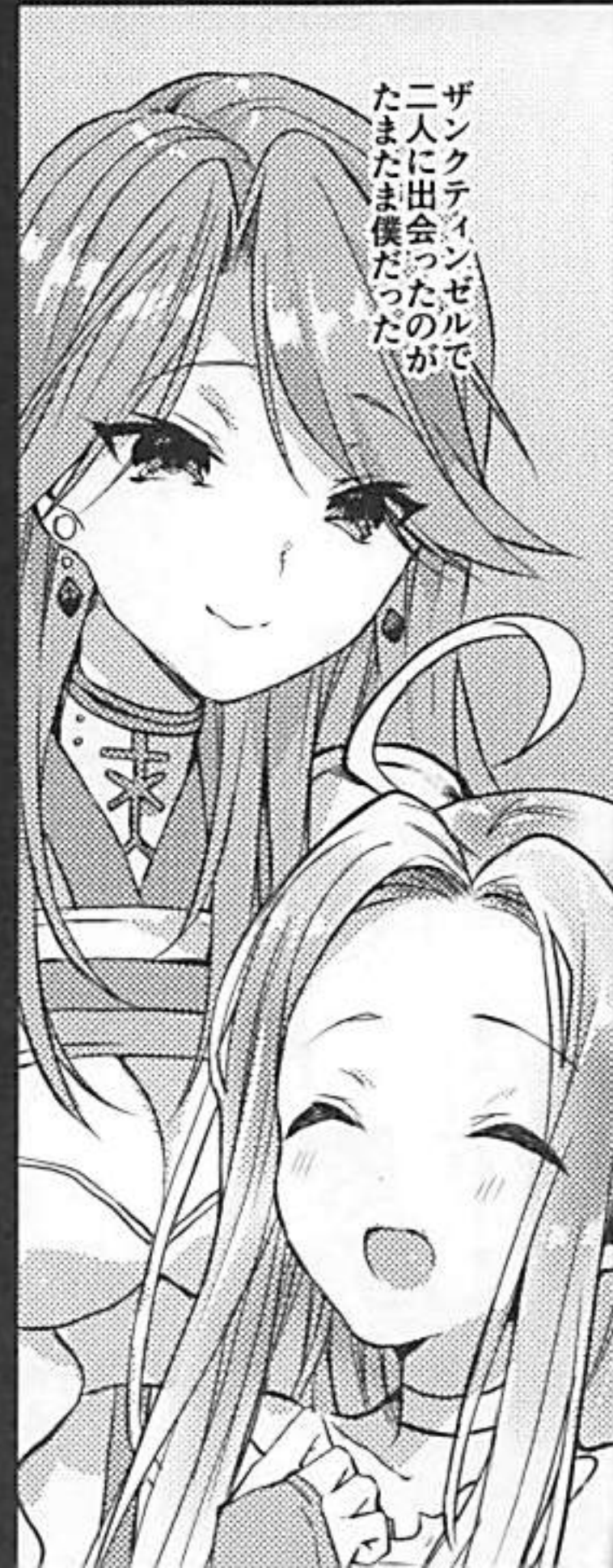


ルリアと命が離れたら
カタリナさんが僕と
一緒に居る理由は

なにもなくなる



……それだけのこと



ザンクティンゼルで
二人に出会ったのが
たまたま僕だった



いつかは

僕なんか
必要なくなるんだ



わかってる

…わかってる、から



…だけど



それは一緒に
旅立った時から
わかってたこと

だから…



うあ……っ

ぐらんにもっともっと
私の身体で

気持ちよく
なつてほしいんだ

う……っ
そんなふうには
動かれると……っ

でも気持ちいい
だろう？

こっちも
気持ちいいの？

女の子みたいな
声が出るぞ……♡



最初の夜から
もう半月が経つ



カタリナさん、っ



グランッ……

もう……
だめだっ

朝からこんな
いやらしいこと
するなんて……



あ……



だめ……

あ……

でもカタリナさん
こんなぐちゃぐちゃに
して……



ん……

立ってられない
ぐらいなのに

このまま鍛錬なんて
出来ないでしょ？



ね？

僕も身体
疼いたまんまじゃ
集中できないし

……う
一回だけだぞ……

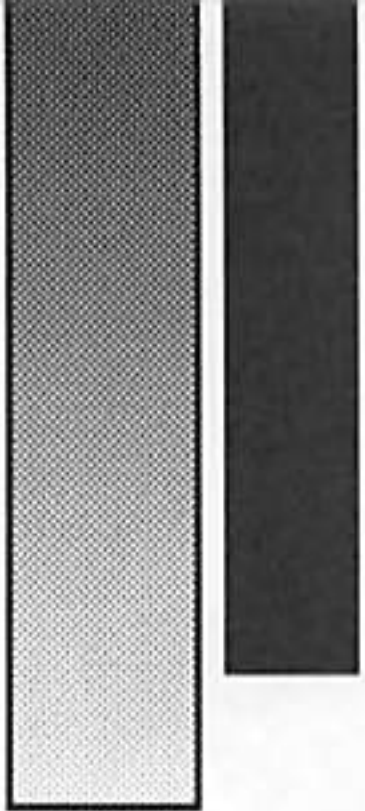
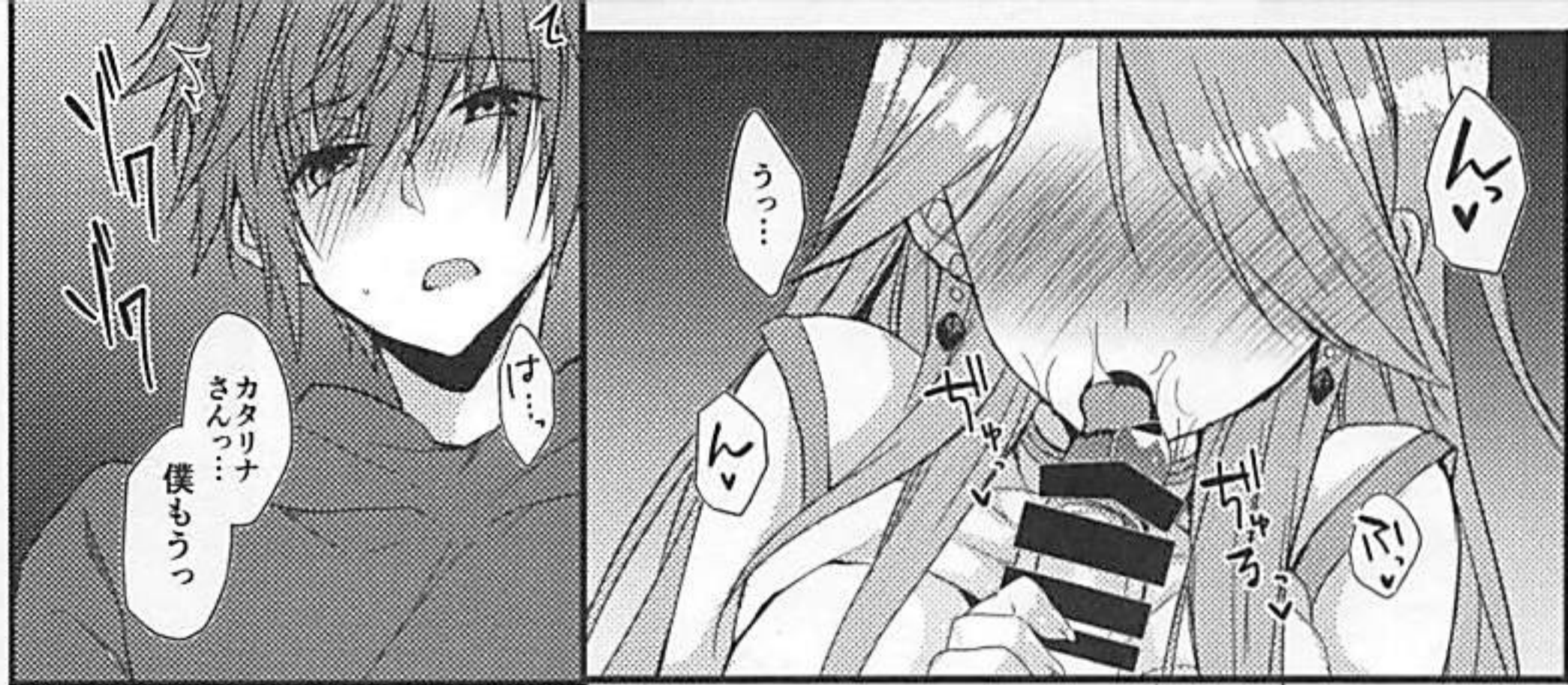


鍛錬するからって
起こしに
来たんだぞ……っ！

だって起きて
目を開いたら
好きな人がいるんですよ？

我慢なんか
できないよ……っ

や……



時間も場所も
関係なく

…駄目だからな♥

私以外と
こういう事を
するのは

またしたくなったら
いうんだぞ?

カタリナさんに
魔法をかけ続けて—



…隙があるのは

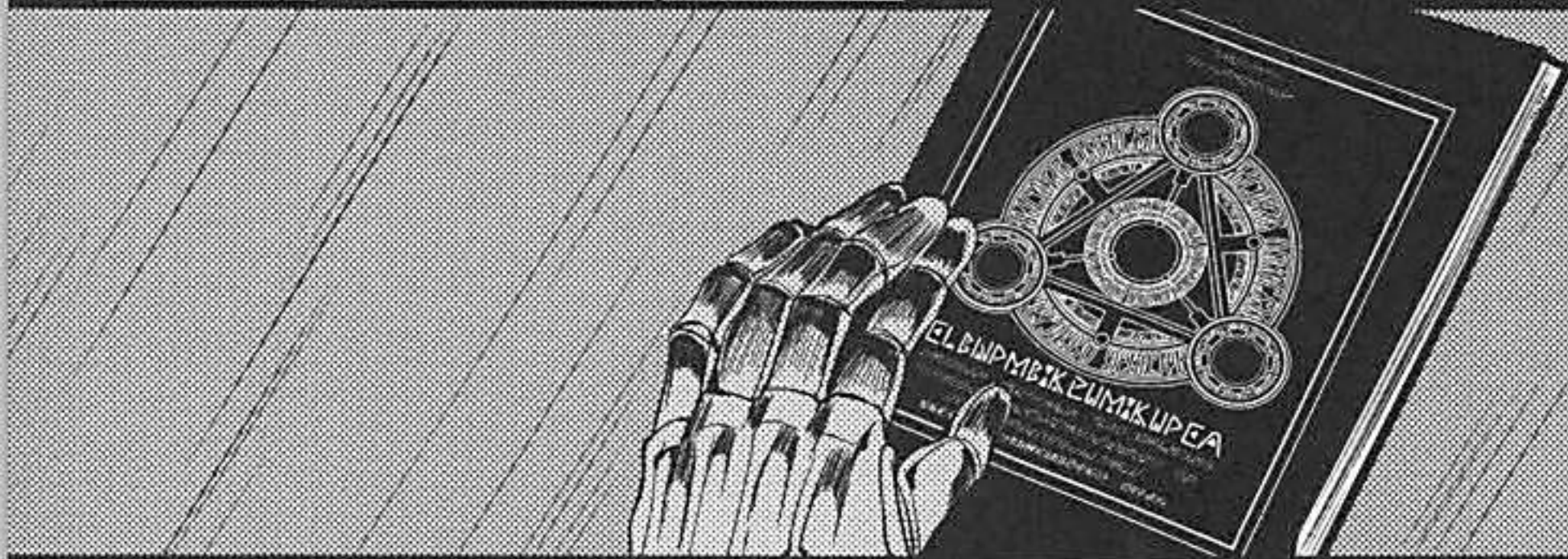
カタリナさんが
僕を信用して
くれているからだよね



魔法を掛ける隙なんて
いくらでもあった



カタリナさんは
僕がこんなことをするなんて
思ってもいないだろうから



なのに僕は
それを裏切って――



こうしていると
本当に恋人同士みたいだ



魔法にかかっている
あいだの記憶は
カタリナさんにはない



でもこれは
魔法の力で
カタリナさんが
自分の意思で
していることじゃない

…本当は
僕は
この人の特別でも
なんでもない



本当は



こうやって
卑怯な手を
使わないと
触れることすら
出来ない



…本当は
カタリナさんは



…そうには
見えないが
暗い顔をして
いるじゃないか

…なんでも
ないです

どうか…
したのか?

…大丈夫

大丈夫
じゃないだろう
心配だ
何かあるなら
私に話…



…グラン?



僕の事なんか
好きでも何でも
ないんですよ

……?

今も僕を
心配してくれてる
でしょ？

僕のこと
好きだから

でもそれは
魔法の力で僕を好きって
無理矢理思いこませてる
からなんですよ

だから

だからこんな
馬鹿で最低な
ことしてる人間に

…なにいつてんだろ

優しくしてやる
必要なんか
…本当はないんです

こんなこと今の
カタリナさんに
言ったら分る訳ない

ごめんなさい
カタリナさん

ただ困らせる
だけなのに

罪悪感を
覚えるくらいなら

…最初からしなきゃ
よかったじゃないか

ごめんなさい……

今更——

痛っ

ガッ



……確かに君は馬鹿だな

私が自分で状態異常を回復できることも

予め効かないように防御できることも忘れたのか？

……それって今

……

いつから気づいて……

……一週間前に

前から違和感があったんだ

身体の調子もおかしいし……

今まで何をしていたのか急に解らなくなったり

記憶が飛んでいるような気がして

それで回復魔法を使ったんだ

……そうしたら今まで何があったのかも全て思い出した

……君が使った魔法は不完全なものだったようだ

……気づかれてたんだ

全部

でもなんだろう

…よかったって
思ってる

これでカタリナさんには
はつきり嫌われたほうが
もう期待をしないで
済むからかな

…身勝手だな

勿論嫌われただけでは
終われるなんて思っただけ
じゃないけど…

あれ?

あの
カタリナさん

…なんだ

びくっ

え

だから
馬鹿だと
言ったんだ

ズ

それに
防御してたなら
じゃあなんで今

一週間前に
気づいた…って
今言いましたよね

君を何とも
思っていなかったら
気づいた時点で

魔法を掛けられる
隙なんか
…二度と作らない

したいんだろう
私とそういう
ことを…!!

え

だから
もういいだろ
ほら!

だから
今夜だって

私を部屋に
呼んだのでは
ないのか??

ズ

ええっ!?

あ



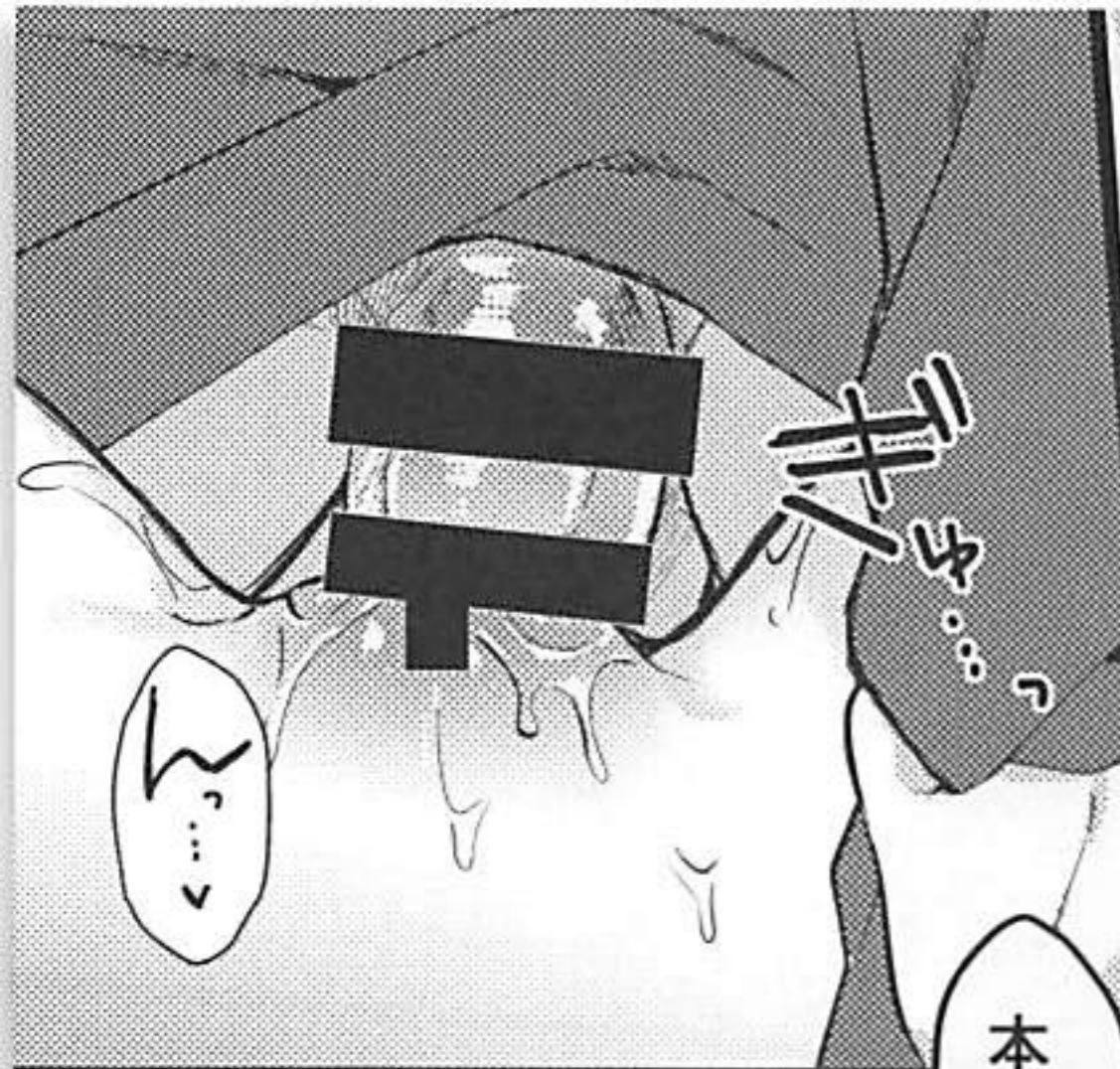
!!

キス

.....馬鹿者

キス

君を好きじゃなかったら
こんなこと.....しない



ん……

……



本当に……

魔法掛かってないんですよ

ビクッ

あ……

は……

フル

フル

ズ

カタリナさんが
したいって
思ってくれてるから

グモ

ズ

ズ

グモ



本当に……

に

掛かってない……



好きだ

グラン……

こうやって……
してるんですよ……?



はっ
はっ

魔法に掛かって
いるふりなんか
しないで

君とずっと
こうしたいって
思っていた...

カタリナさん...



グラン

だから...
君は自分を
責めて苦しむ必要
なんかなかったんだ



本当に
悪いのは

気付いていたのに...
間違ったことをさせ続けた
私の方なんだ...



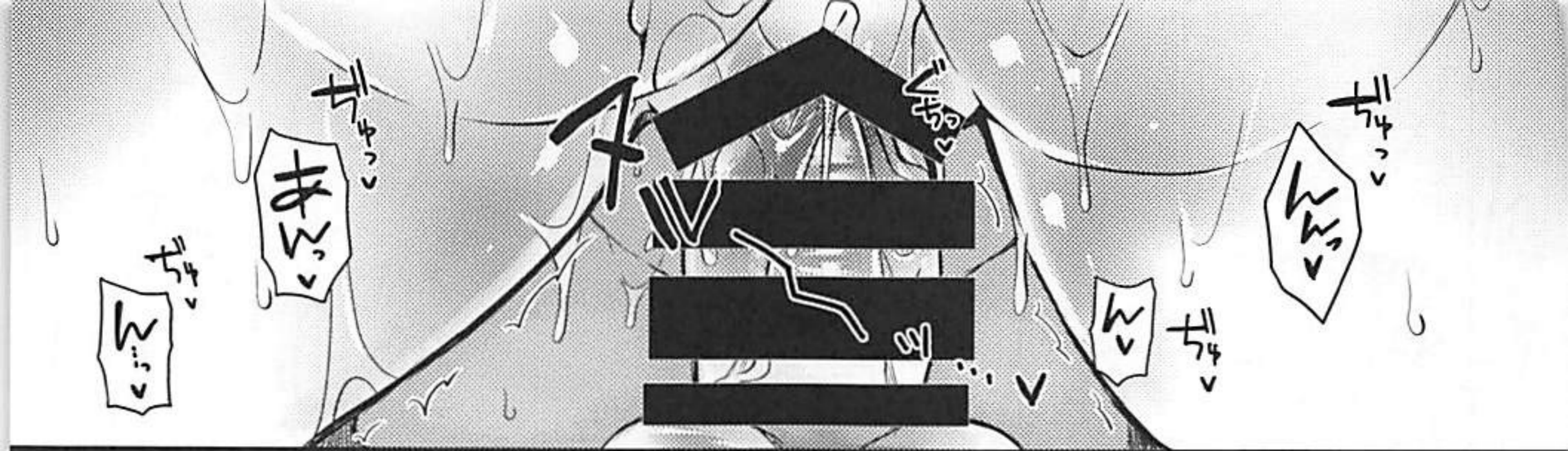
君は寝ていていいから...っ



君も気持ちいいだろう...?

この体勢だと...っ 奥まで入るから





ムムム...

ぬほい

カタリナさん
でも僕も

もっと
カタリナさんのこと
気持ちよくしたい...

おんあま

アロアロ

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

ムムム

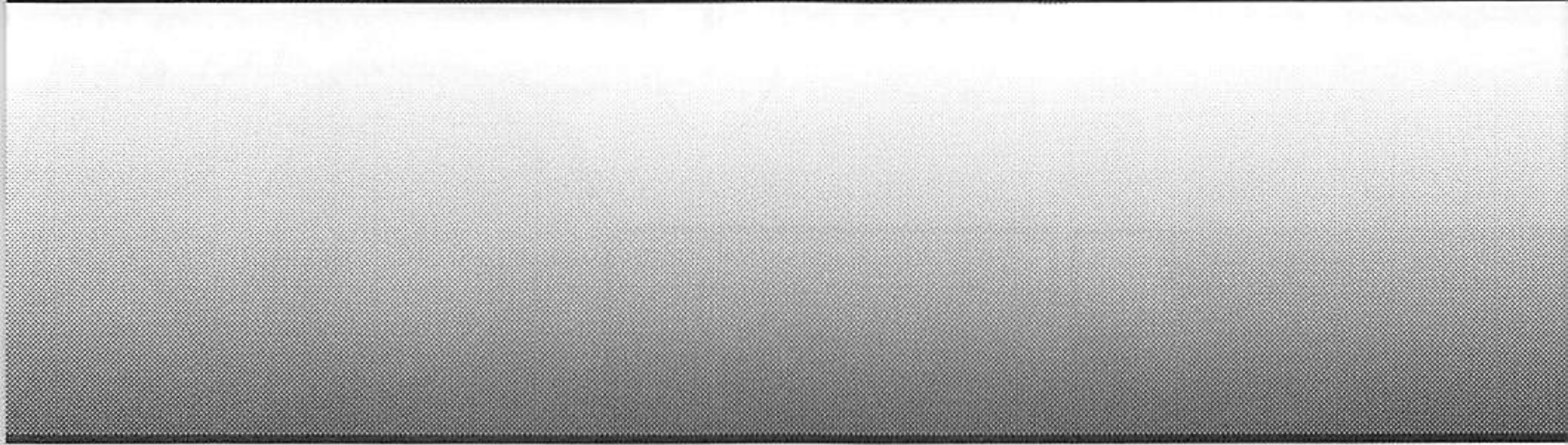
ムムム

ムムム

ムムム

ムムム







なのにカタリナさんが悪いとか意味が解らないよ...

僕が罰を受けて当たり前のことをしたのに

…抑えているわけじゃない



初めから卑怯な手段に逃げないでカタリナさんに直接好きって伝えれば良かったんだ



からかわないでちゃんと謝らせて下さい

…まだ言うか？君は優しいな？



君が魔法を使ったことに気付いても…自分の気持ちを優先して止めなかったんだ

私は君を叱れる立場じゃないよ



私の勝手な都合に巻き込んで君の命と未来を奪ってしまった...



旅を始めて最初は…申し訳ない気持ちでいっぱいだったんだ



カタリナさんの気持ち…？

なんですかそれっ…
僕そんな風に
思ったことない

僕が勝手に
首突っ込んで
だんだし…!

グラン

…それでも私には
君の人生を変えて
しまった責任がある

だから…

危険から守って
生きていくために
必要な知識を教えて…

君がちゃんと大人に
なれるように
側で支えていかなければと
思っていたんだ

でも…
一緒にいて

君と接して
いるうちに

いつかは
君も大人になって

大切な人が出来て
私が見守る
必要もなくなっで

私から
離れていく



素直に喜ばなくなっ
たっていったんだ

君が成長して
いくことを

…当たり前前
の事なのに



…それで
こうなって
気がついた時
私は君の保護者
なのだから

こんなことは
やめさせなければ
いけないと思っ
た

でも
出来なかった



君に本当に
好きな人が
出来るまで

…私が必要
なくなるまで
…それまでなら
って思っ
てしまっ
て

…止められ
なかつた

君が私に飽きるまで
魔法にかかっている
ふりをする

そう決めていたくせに…
君に求められ続けるうちに
どんどん揺らいで

結局…
気持ちを押し殺せなくなって
一番間違った選択をしたんだ

保護者失格だよ
…いい大人が情けない

でも
それは

僕からしたら
嬉しい事…

そうだったら
いいのにつて
ずっと望んでたこと

それでもだ

私は一切
嫌な思いなんて
していないんだ

自分を責めることも
謝ることも
しなくていい

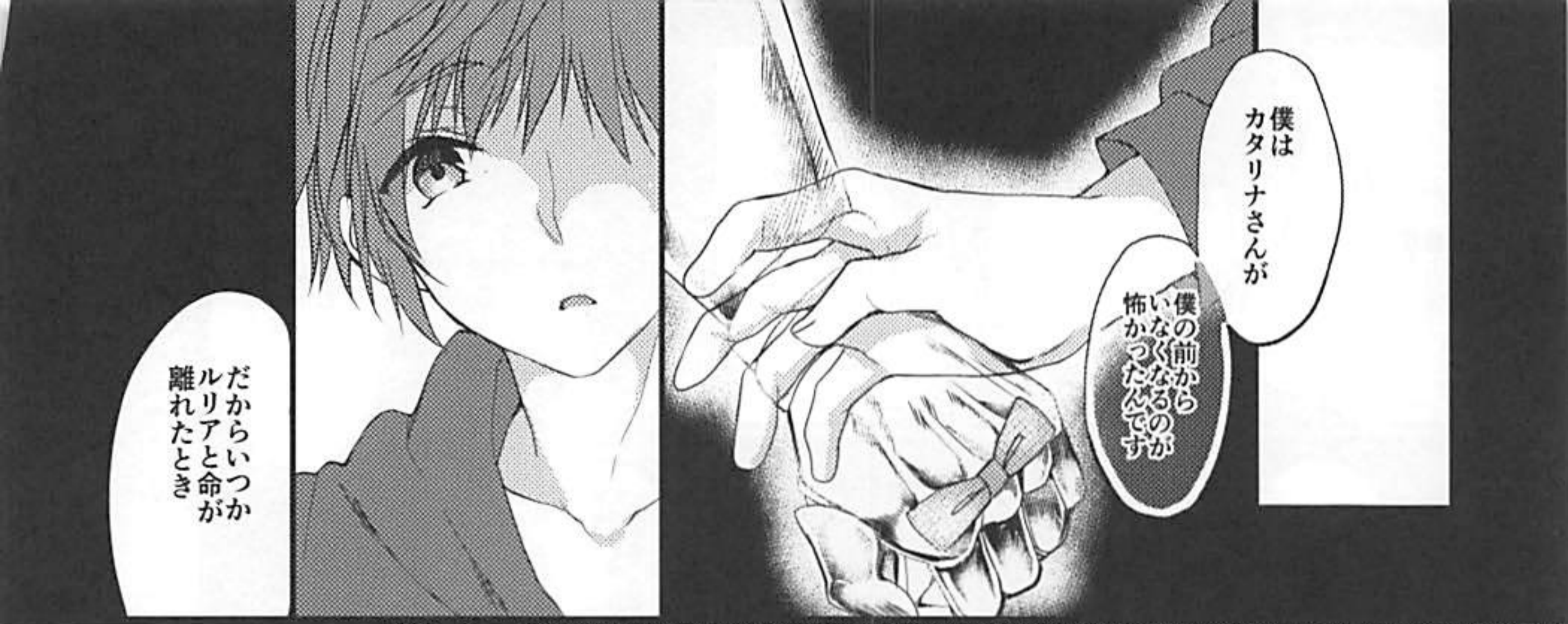
だから
グラン
だ

…そんな風に
一人で完結しないで

…僕が飽きるとか
カタリナさんを
必要としなくなるとか

有り得ないよ

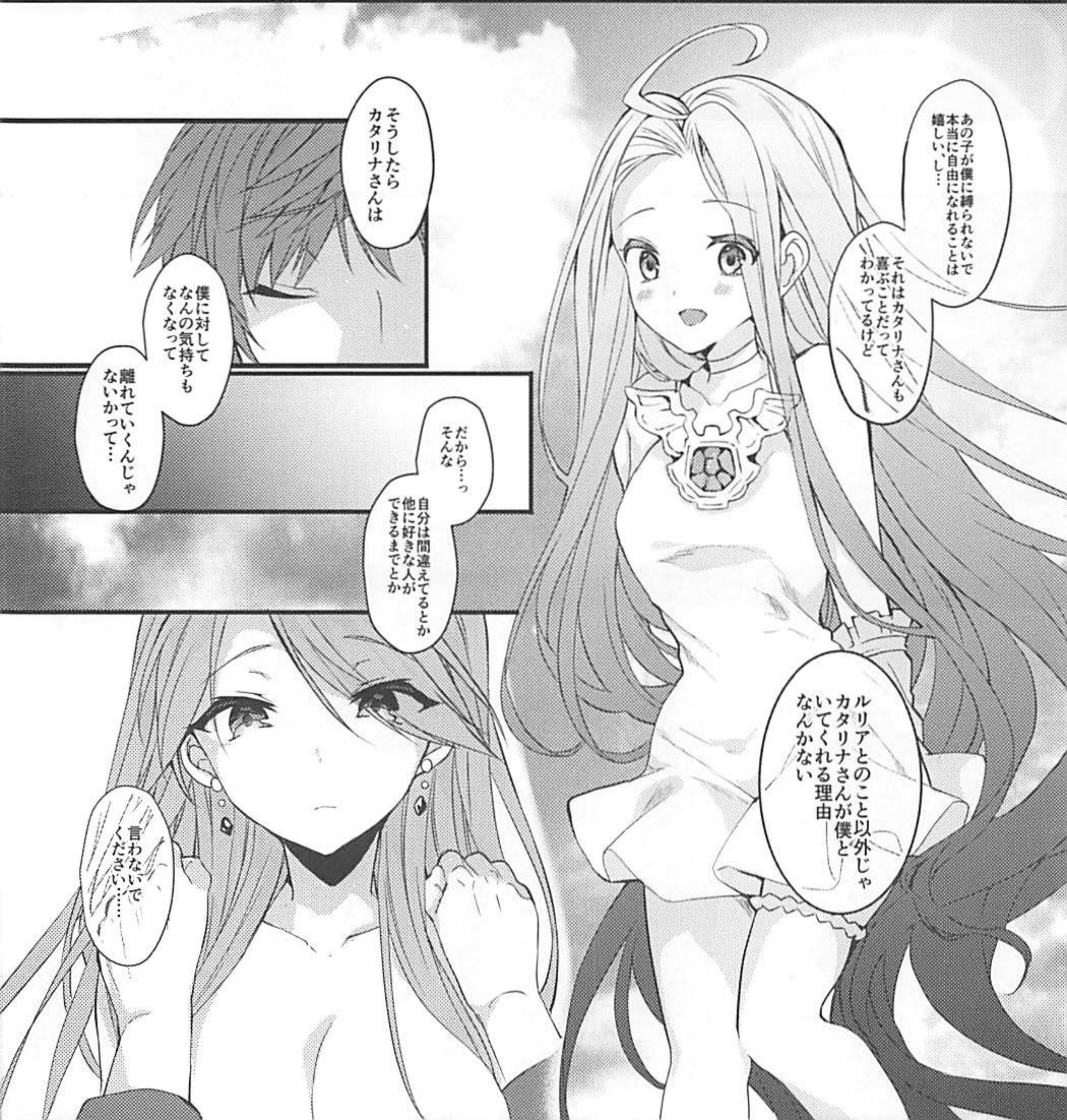
…グラン？



僕は
カタリナさんが

僕の前から
いなくなるのが
怖かったんです

だからいつか
ルリアと命が
離れたとき



あの子が僕に縛られないで
本当に自由になれることは
嬉しいし...

それはカタリナさんも
喜ぶことだって
わかってるけど

そうしたら
カタリナさんは

僕に対して
なんの気持ちも
なくなってる

離れていくんじゃないかって...

だから...
そんな
自分は間違えてるとか
他に好きな人が
できるまでとか

ルリアとのこと以外じゃ
カタリナさんが僕と
いてくれる理由
なんか無い

言わないで
ください...

カタリナさん以上に
好きだって
思える人なんか

これから出来るわけ
ないじゃないですか……!

グラン……



涙と鼻水で
すごいこと
なっているから

とりあえず
落ちつい……

落ち着ける訳
ないでしょおおお
北



不安だったのに
気づいてやれなくて

……ごめんな



僕ッ

最低最悪
ですけど

軽い気持ちで
こんなこと
したんじゃないです

他のやりたいこと
全部できなく
なってもいい

身勝手だけど……
嘘でもいいから

カタリナさんに
好きっていつて
ほしかった……



でも

私がルリアとの
ことは抜きに
君が好きだということ
は伝わっているかな

……



だからいつか
そうなっても…
私はルリアと一緒に
君と共に居たいと思っている



まあ団長の君に
追い出されない
限りはだが

一緒に居たくて
必死だったのに
追い出すなんてする訳
ないでしょお!



命が離れても
勿論それは
変わらない

君への気持ち
がなくなるなんて
ないさ

泣かなくても
いいだろうか?



命を共有していても
私にとってルリアと君は
別の存在だよ

それぞれ
大切な人だという
点は同じだがな



ひ、ひどいですよ…
僕のことそんな
薄情な奴だって
思ってるんですか

それを言うなら
君もではないか?

私の心で
君を置き捨てて
ルリアを連れて
何処かへ行ってしまう
情の無い奴だと思
ってたんだろうか?

うっ…

すまん
冗談だ



…本来ならば

選択肢なんて
沢山あったんだ

カタリナ
さん…

…ごめんな
大人げないな?



グ…

…これも
冗談だ



遊んでる
訳ではないよ
…ただまあ

…カタリナさん
僕で遊んでます?

魔法に掛かっている間に
結構とんでもないことを
したりさせられたり
したようだから

その分意地悪を
したくなっただけで…



あの日は

君が命を失う



パイ君と二人でも
始めていただろう

旅なんて私と
出会わなかったって…
君ならきっと



形は違えど
きっと出会えて
いたと思う




他の仲間になつて



もっと自由で



帝国に追われて
危険に晒されながらの
旅じゃなくて



私と
出会わなかった
ほうが

君は幸せ
だったんじゃないかって

自分の未来を
自分で選ぶ

…当たり前前の権利も
奪い取っておいて
その上…


今までも
これからも

その気持ちは
拭えないまま

……どんなに
望んでくれたと
しても

私のしていることは
間違っていることだ

一生私の中に
残り続けるだろう



…カタリナさん

でも

好きです

僕、ガキだし
馬鹿なことするし

ほんと
どうしようもないって
わかってるけど


でも
……カタリナさんと
一緒にいたい

貴女じゃないと
駄目なんです

それでも

私は

うん……グラン



私も君が
好きだよ

というお話でした。
ハッピーエンドと見せかけてまだまだ
カタリナさんの中では全部納得できてはいないよという

年齢も離れているし、立場的なことを考えると
グラン君に対して恋愛感情があっても
自分の気持ちを素直にグラン君に吐き出すことは
出来ない真面目なカタリナさんが好きです…

グラン君が気にしてなくても
カタリナさんは自分のせいで危険な状況に
巻き込んだらという気持ちは
捨てられないと思うんです

あとやっぱりりびびを守る
騎士でありたいというのがカタリナさんの
一番望んでる生き方だよなと私は思うので
そうするとそれ以外のことはやっぱり後回しになっちゃうわけで
好きな相手に好きだと言われても
自分は相手と同じように100%相手に気持ちを返せないから
嬉しいけどやっぱり後ろめたく感じることも
あるんじゃないかなと

そしてまたグラン君を
すごくじめじめした子にできてしまってすみません
でも年齢的に大人と子供の間だし
旅が始まるまではあんまり外の情報が入ってこない
村の中でずっと生きてきたわけで

自分で自分の気持ちをうまくコントロールできなくて
頭では解っていてでも納得できない気持ちを抑えられなくてわーっとなっちゃったり
そういうのまだまだあるんじゃないかなと
なのでカタリナさんの状況とかかわかってても
好きってお互い思ってるのにそれだけじゃダメってなんでなの？って
気持ちが爆発しちゃってもしょうがないことなんじゃないかなあとか

グラカタ幸せになってほしいって勿論思っているんですが
やっぱそうなるまでには互いに色々な面で何度もぶつかって
行くのは避けられないというか
やっぱそうやっばってお互いに理解を深めて
グラン君が大人になってからくっついて幸せになる感じがいいなと
思っていたり…

でも小説版とかの純粋でかわいいグラン君見ると
そういう複雑なこと全ですっ飛ばして
ショタおねな初々しいグラカタとかにもすごい
萌えてしまうんですね(…)
年下の子にぐいぐい来られて
あわあわ慌てる(そして流される)カタリナさん可愛い…

まあそれまでにどんな流れがあったとしても最終的にはラブラブ幸せな
グラカタがいいなあという気持ちは変わらないので、うん
この話の続きもどっかで描けたらいいなあと思います

お手に取って頂き有難うございました!

奥付

『IMMORAL』

発行/2017/12/29

発行サークル/+Elegy

発行者/mt

plusmtmr@gmail.com

印刷：ラック出版様

本書は個人が制作した非公式ファンブックです。
制作会社様およびすべての著作権元とは一切関係ありません。

本書は成人向けです。未成年の購入及び所持・閲覧を禁じます。

無断転載・複製・ネット上へのアップロードを禁じます。



+Eleqy
20171229